

# 海を守ろう！

## — 漁場クリーンアップ試験調査事業 —



最近の水産業をとりまく環境は大変厳しく、二百カイリ経済水域の定着により、沿岸漁業の見直しが重要な課題となっています。しかし、一部の沿岸漁場においては、ビニール、プラスチック、空缶などの非腐敗性廃棄物のたい積により、漁場環境が悪化しており、水産動植物の繁殖に悪影響を与え、また、漁業の操業にも大きな支障をきたしています。

そこで、熊本県では、田浦町、芦北町、津奈木町そして水俣市地先の不知火海を対象にして、沿岸漁場の環境改善と今後の効果的な環境保全のあり方を検討するため、漁場クリーンアップ試験調査事業を実施しています。

### この試験事業の内容は

#### 一、検討調査

地域の学校の先生、婦人会、漁業者及び市町の代表者等で構成する漁場環境改善地域検討会を設置し、試験事業の計画、結果のとりまとめ、及び、今後の漁場環境保全対策などについての検討調査を行う。

#### 二、清掃事業

(1) 海浜清掃  
婦人会、老人会、子供会、そして漁業者などの地域住民の参加により、海岸に打ち上げられたり、陸から投棄されたゴミを回収する。

#### 三、特殊海域漁場水底底質環境調査事業

芦北郡福浦湾では、たいなどの魚類養殖や真珠養殖が行われ

六・六%から二二・六%へと落ちていきます。このことは、本県が日帰り通過型の観光地となりつつあることを明示しています。

宿泊者の減少は、佐賀県を除いて九州各県同じような傾向です。しかし、長崎県の宿泊率は、五九・四%に達し、九州の宿泊拠点の地位を確保し、大分県・鹿児島県も七百七十九万一千人、七百三十万七千人と、本県より高い宿泊者数となっています。

### 熊本県大型観光 キャンペーン

本県は、九州の中央に位置し、交通至便で、特に高速道の発達によりマイカーを利用した観光客が増加し、県内における観光客の行動範囲が広がってきました。

このため、県内に観光拠点を広げ観光客の要請に対応し得る魅力ある観光地づくりを行ない観光客の滞留性を高めることによって、宿泊者数を増加させることが必要であります。

そのためには、県内の新しい観



県下各地で「明日の観光を創る会」が発足、自分たちの手で観光開発を（松島町）

光地の創出や、埋もれた観光資源を発掘し、演出を行い、各地の観光地との関連性を強めることによって、観光地の拡大を図り、これまでの観光客の流れを変えると共に、観光客に満足していただくために、料理の開発や接遇を含めた受入れ体制も整備することが必要です。

さらに、宣伝についても、従来県、市町村、民間観光関係団体が各々行っていたものを、一体とな

（観光振興課）

って実施すれば、より効果的にあります。

前述のように、観光は地域経済に大きく寄与しますが、本県が時代の要請に対応した観光地づくりを行うなら、まだまだ大きく伸びる可能性もっています。そこで今回、県、市町村、民間観光関係団体が一体となって、昭和五十七年八月一日から十一月三十日までの四ヶ月間、熊本県大型観光キャンペーンを実施します。

これは、大規模な宣伝と誘客活動によって観光客の誘致を図るだけでなく、将来にわたって魅力ある観光地づくりを目指すとするものです。キャンペーンに限らず観光の振興は、観光関係者だけでなくできるものではありません。

このキャンペーンが、県民の皆様と一緒に進んで、熊本県の観光を基本的に考える機会となれば幸いです。

なお、キャンペーン期間中は、県内各地で楽しい催しが一杯ですが、このことについては、改めて御紹介します。